

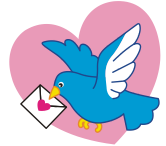
# 流山 九条ニュース

「九条の会・流山」事務局

阿部 7140-7605 石林 7154-7511

齋藤 7143-0374 三原 7152-6559

2009.8.1 NO.41



「九条の会・流山」HP：<http://www.nagareyama9.org/> メール：[info@nagareyama9.org](mailto:info@nagareyama9.org)

## 流山市議会が核廃絶の意見書採択

流山市議会で6月議会の最終日の29日共産党から提案された核兵器の廃絶を求めて政府が行動するよう求める意見書が採択されました。新たな国際的な動きを反映したものでしょうか公明党の4名以外の全員の賛成でした。

## 核兵器廃絶国際条約締結を求める意見書

一瞬にして多くの命を奪い、広島、長崎の二つの都市を破壊させた核戦争の惨禍と、その後の世界各地での核実験の被害は、人類が核兵器とは共存できないことを明白に示している。そして、人類を核破局から救い、非核・平和の世界を実現する上で、核兵器の全面禁止・廃絶に変わる代案はない。

2000年に開催された核不拡散条約(NPT)再検討会議は、核兵器国を含む参加国が一致して核兵器廃絶の「明確な約束」を確認し、その後の国連ミレニアム総会もこの約束を支持し、核兵器廃絶を求める決議を採択した。

しかし、それから8年が経った今も「明確な約束」は実行されていない。

世界には2万6000発の核兵器が配備・貯蔵され、

そのうち約3000発が即時発射態勢におかれるなど核兵器の脅威は続いている。核兵器拡散の危険も現実存在している。

オバマ米大統領が核兵器廃絶を自国の国家目標として追求することを宣言し、ロシアのメドヴェージェフ大統領もその目標を共有する態度を明確にするなど、核兵器のない世界を実現する大きな機会を迎えている。

よって政府は、唯一の被爆国として核兵器廃絶のために積極的に行動すること、そのための具体化として、核兵器の使用、実験、研究、開発、生産、配備、貯蔵などの一切を禁止する「核兵器廃絶国際条約」を一日も早く締結することを関係諸外国に働きかけるよう、強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

2009年6月29日

衆議院議長 河野 洋平 様

参議院議長 江田 五月 様

内閣総理大臣 麻生 太郎 様

外務大臣 中曽根 弘文 様

千葉県流山市議会



流山市は、昭和62年1月1日、市制施行20周年を迎え、これを契機に平和都市を宣言しました。そのおり、朝倉家御遺族の御理解のもとに東京都台東区から朝倉文夫作「姉妹」像の寄贈を受け、これを、「平和の像」として市役所庁舎前のプラザの一画に建立しました。

本作品は、朝倉翁が昭和22年、戦いが終わり平和の喜びを心に秘めて制作したものとされており、本市が願う世界恒久平和のシンボルとして、永く後世に伝えるものです

<流山市のホームページより>

## 平和都市宣言

私たちは、平和と繁栄を市民憲章にうたい、豊かで活力ある文化都市「流山の実現をめざしている。

私たちの国は、世界でただひとつの被爆国として、広島、長崎のいたましさと被爆者の苦しみをすべての人びとに訴え、人類共通の願いである恒久平和を達成させなければならない。

私たちは、日本国憲法の平和精神にのっとり、武力による紛争をなくし非核三原則をまもり、すべての核兵器をすてることを訴え、世界平和確立のため、ここに平和都市を宣言する。

昭和62年1月1日

流山市

